

松本市議会議員

# 吉村幸代

の活動レポート

第9号(平成29年総集号)

よし むら さち よ

発行 吉村幸代後援会

〒399-0025 長野県松本市寿台9丁目4-1  
Tel & Fax 0263 (58) 0201  
E-mail sachiyo\_kun@ybb.ne.jp  
URL http://yoshimura-sachiyo.jp/



2018年2月発行



議員3年目!

## 「商都松本」の経済地域委員会 副委員長として活動中

平成29年5月、私の議員3年目がスタートしました。議員は、年賀状を印刷して出すことが禁じられておられますので、「」で平成29年を振り返るとともに、平成30年に向けて抱負などをお伝えしておきたいと思っております。

議員3年目は、経済地域委員会の副委員長として活動中です。松本市議会には、総務・教員民生・経済地域・建設環境という4つの常任委員会があり、全議員がいずれかに所属して活動しています。経済地域委員会は、商工業、観光、農林業、地域（へのな） 私たちの暮らしを豊かにする重要な分野を所管します。

私は、信州大学経済学部大学院で経営学（主にマーケティングや経営戦略）を学びました。また、寿台公民館長として、地域（へのな）

の最前線に立って取り組みを進めてきた実績もあります。従って、経済地域委員会は言わば専門分野・得意分野、いよいよ本領発揮の時と張り切って始めました。

秋9月には、決算特別委員会も開催されました。平成28年度の決算を4日間にかけて審査したのですが、私は昨年度に引き続き委員を務めました。連続審査中、見えるものを増やしてくれました。また、現在、松本市には3つの特別委員会（市立病院建設、基幹博物館建設、市役所新庁舎建設）が設置されており、私は基幹博物館建設特別委員会に所属。いずれも莫大な費用を要しますので、冷静に見極めてまいります。



▲ 平成29年9月 中山地区棚峯町会の敬老祝賀会にてオリジナル曲「寿太々神楽・鉢伏明星」を演奏、真剣!

# 新しい後援会長を迎えて

## 新後援会長の自己紹介

会長に就任した上條裕朗です。

上條記念病院の院長（医療法人  
心泉会常務理事）と、社会福祉法  
人心泉会の理事長を務めています。  
「愛と信頼で築く、医療・保健・  
福祉」が法人の理念です。

出身は東京都の深川で、永代橋  
富岡八幡宮（宮司をめべりの殺人事  
件のあった神社）まで徒歩20分  
ところに自宅があります。1989年  
（昭和44年）に信州大学医学部を  
卒業後、東京女子医大脳神経外科  
にて脳外科の研鑽を積みました。  
1978年、松本駅前の上條医院に脳  
外科を併設して、救急医療に従事。  
1982年には村井町に上條記念病院  
1985年には中山地区に介護老人保  
健施設ローズガーデンを設立。そ  
の後、慢性期医療と介護を担い、  
上條記念病院・老健ローズガデー  
ン・グループホーム・シヨートス  
ティ・有料老人ホームなど、合わ  
せて435床を経営しています。



上條 裕朗  
(かみじょう・やすお)

## 吉村議員に期待する点

「女性の目から見た市政」を期  
待します。男性優位な現代社会に、  
「女性の目から見た施策」を期待  
します。弱者の意見はなかなか吸  
収できないのではないかと思いま  
すので、「弱者に寄り添った議会活  
動」を期待します。

特に、少子高齢化と困窮世帯の  
対策には力を発揮してもらいたい  
ものです。そして、これらは息の  
長い政策でありますので、私たち  
吉村後援会のメンバーは、強力に  
市議会議員の当選活動をしていか  
なければならぬと思います。

佐野順子後援会長が、平成28年11月付で民生児童委員の委嘱を受  
けました。民生児童委員であっても後援会活動（政治活動）は認めら  
れていますが、選挙活動には制限があることから、選挙戦を見据えて、  
これを機に、新しい後援会長にバトンを渡すこととなりました。

とのわけ、一人暮らしの世帯が  
増え続けています。国（国立社会  
保障・人口問題研究所）の発表で  
は、2040年には全世帯の約40%が  
一人暮らしになると推計されてい  
ます。65歳以上の高齢者が世帯主  
となる比率は、36%（2015年）か  
ら44%（2040年）に上がり、半数  
に迫る状況となります。

長野県において、一人暮らしの  
世帯は一般世帯の28%（2015年）  
であり、推計値からすると2040年  
には40%以上になることとなります。  
今から、20年後の対策を立ててい  
くことが重要といえます。

また、長野県は、2017年に生活実  
態調査を行いました。この調査は、  
世帯を「一般層」「周辺層」と「困  
窮層」に分類していますが、一般  
層は60%、周辺層が15%、困窮  
層が9%、区分不能16%でした。  
この調査結果の中には、「困窮層  
では、21%が子どもを医療機関に

受診させなかった」という残念な  
項目もあります。すべての子ども  
たちが笑顔で、自分の未来を切り  
拓いていける社会を実現していほ  
しいと願っています。

吉村幸代議員の夢を叶えるため  
に、老骨に鞭打つてがんばります。  
後援会メンバーの皆様方には、叱  
咤・激励と鞭打をお願いすること  
とともに、後援会の会員を増やすこ  
とを協力していただきますよう、重  
ねてお願い申し上げます。

新年にあたり決意する次第です。  
2018年1月1日



URL  
<http://yoshimura-sachiyo.jp/>  
定例会の質問日もブログにて速報

# 右でも左でもなく

議員をしていると、様々な集まりに招かれて、いろいろな方々と言葉を交わす。過日は、ある文化関連の団体が主催する祭りに出かけて行った。和やかな祝宴が開きとなって別れの挨拶を交わす中、役員氏に呼び止められた。「あなたも保守本流に戻って来なさいよ」。私は驚いた。文化関連の集まりで政治的イデオロギーそのものの単語が唐突に発せられた、無粋さに驚いたのである。

「このような場所で、立ち話で何ですが、私は右でも左でもなく真っ直ぐに歩きたいつもりです」と答えると、役員氏は「それは聞かぬが、今回の衆議院選挙では、あなたの説に投票したのかね」と聞いた。

投票行動をどうして極めようか、ハイペースな内心で、どうして踏み込めるのだろうか。威張るつもりはむしろないが、仮にも私は来賓で、金費も自分の財布から支払っ

て参加。しかも秋の繁忙期の貴重な休日を割いて、である。

平成29年を表す漢字は、「北」であった。日々の生活や将来への不安が渦巻く中で、新たな心配事が台頭している。そのせいか、対話と圧力の狭間で、「右だ」「左だ」と分類を口にする人が増えたと感じる。「右」なり「左」なりの価値を、その究極まで実現したところ、「ユートピア」をみる考えはとて終焉を迎えており、ほとんど意味を持たないにもかかわらず……。

対立する敵をつくっては人を分断し、分類するやり方からは結局何も生みわれない。

そんなある日、市民相談課から電話が入った。市役所ロビーで上映されている定例議会・一般質問の録画を見た市民の方から、「市長への手紙」が届いたという。何事かと思いきや、「福祉ひろばをよく利用する。前々から疑問に感じていた問題だが、吉村議員の質問によって理解できました。引き続きがんばってほしい」との内容であった。うれしかった。ちゃんと見ていくれる人もいるではないか。「右でも左でもなく真っ直ぐに」は、

私の立候補時からの信条。市民益のために、真っ直ぐに働いて議員でありたいと強く願っている。

## 平成29年度の質問項目

### 6月定例会

1. 医療費の適正化に向けて
  - (1) リビングウィルについて
  - (2) 摂食嚥下・歯科口腔医療の重要性について
2. 地区福祉ひろばのさらなる充実に向けて
  - (1) 事業のあり方と運営について
  - (2) 職員配置と体制について

### 12月定例会

1. 危機管理体制
  - (1) 車中泊避難者対策について
  - (2) 災害発生時の町会未加入者への対応について
  - (3) 災害時要援護者優先避難所
  - (4) 避難所におけるペットの扱い
  - (5) 消防団員の確保について
2. 子どもを取り巻く諸問題
  - (1) 小中学校のJアラート対応
  - (2) タブレット端末の導入について
  - (3) 病児保育事業について
  - (4) キッズウィークの導入について
  - (5) 「特別の教科・道徳」について

## 編集後記

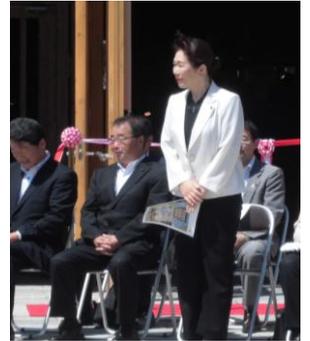
秘書に暴行、記者に暴言、市長室でセクハラ……お粗末なニュースが年末年始のお茶の間に流れた。幸いこれは他市の話。議会で何を質問したら良いか市職員に教えを乞い、紙面に載りそうな質問ネタを新聞記者に乞う……悲しきかなこれは松本市議会の実話。12月定例会では、「理事者の答弁案が遅かったから質問しにくい」などという珍発言まで飛び出して、苦笑を誘った。▼松本市では現在、(3)の大型公共施設の建設計画が同時進行中。維持費や利息は増えるが、人口と税収は増えない。医療や介護、子育てに生活保護。誰か分配の恩恵を受け、誰か分配を負担していくのか。議会は明確な政策思想を打ち出して議論を重ね、方向性を定めていく場であってほしい。▼信州の冬は漬物。稲核菜に牧地大根、木曾紫がぶ。祖母から受け継いだ味を食すと、在りし日の姿を思い出す。口癖は「食へるものにだけは困りたくない」だった。今、妙に切実。この国は本当に豊かになったのだろうか。(結城さ)



▲3/28(火) テレビ松本番組収録



▲5/1(月)松本市市政施行110周年記念式典



▲6/17(土) 信州夢街道フェスタ開会式

▲2/1(水) 才教学園中学校音楽科授業「和太鼓」に協力

▼8/2(水)～8/4(金) 経済地域委員会視察 in 小松市・金沢市・白山市・富山市



▲8/6(日) 寿台夏祭り



▲7/8(土)～8/7(月) 明善小学校金管バンド和太鼓演奏の指導  
8/8(火)バンドフェスティバル▶



# 吉村写真館 2017 春～2017 秋



▲8/10(木) 伊那市防災研修会「備えあれば憂い減る」と題し講演



▲8/15(火) 松本市平和記念式典



▲8/29(火)～31(木)会派「みんなの未来」行政視察 in 岩手県紫波町・秋田市・黒石市



▲9/2(木)～10/3(火) 決算特別委員会 2年連続で委員



▲9/10(日) 内田地区大運動会 開会式でごあいさつ

▼9/18(月・祝) 内田地区敬老祝賀会 声高らかに「カンパニー！」



▲10/1(日) 第1回松本マラソン 応援演奏ボランティア in 寿の湯

